

第3章 重点プロジェクト

重点プロジェクトとは

総合計画に示された6つの分野別まちづくり方針に基づいて、本計画期間中に優先的に取り組むべき16のプロジェクトです。なお、下表の関連施策欄の☆印は、市長マニフェストとの関連性が高いものを表しています。

重点プロジェクト一覧表

分野	プロジェクト名	関連施策	
1 健康・福祉 健康で生きがいを持って暮らせるまちづくり	児童福祉施設の整備	1-3 子育て支援	☆
	特別養護老人ホームの建設	1-4 高齢者福祉	☆
	地域包括ケアシステムの整備	1-4 高齢者福祉	
	障害者の生活拠点となるグループホームの整備	1-5 障害者（児）福祉	☆
2 教育・文化 豊かな学びと心を育み文化の薫るまちづくり	小学校の英語授業への教科担任制の導入	2-1 学校教育	☆
	グローバル人材の育成に向けた子どもの英語力向上	2-1 学校教育 2-2 生涯学習	
	コミュニティ・スクールの充実	2-1 学校教育 6-1 コミュニティ・市民活動	
	放課後の子どもの居場所づくり	1-3 子育て支援 2-2 生涯学習	
	地域との絆を深める駅伝大会の開催	2-4 スポーツ・レクリエーション	☆
3 安全・環境 安全・安心で環境にやさしいまちづくり	防災・健康ひろばの整備	1-1 健康・医療 3-1 防災・消防	☆
	名古屋市と共同で整備する清掃工場の余熱を利用した温水プールの整備	1-1 健康・医療 3-4 ごみ処理・資源循環 6-5 多様な連携	☆
4 都市基盤 快適で利便性の高いまちづくり	鉄道高架化事業と駅周辺のまちづくり	4-1 道路基盤 4-2 市街地・下水道	☆
	「お出かけできる足」となる公共交通の充実	1-4 高齢者福祉 4-5 公共交通	☆
5 産業活力 魅力的で活力あるまちづくり	沖村西部土地区画整理事業と企業誘致	5-3 工業	☆
6 協働・行財政 協働と連携のまちづくり	ファシリティマネジメントの推進	6-4 行政経営	
	名古屋市等との合併の検討	6-5 多様な連携	☆

□ 児童福祉施設の整備 ☆

関連施策 1-3 子育て支援 ②子育てと社会参加の両立支援

□ 事業概要

子育て世代にとって身近な相談場所を設けるなど、子育てしながら働きやすい環境づくりに利用者目線で取り組み、保育園の待機児童ゼロを堅持します。

□ 主な事業内容

・施設改修・新園舎整備

(旧)九之坪北保育園を九之坪児童館に改修し、外遊びができる館庭を整備することで、児童の体力向上を図ります。

児童発達支援事業所ひまわり園とひまわり西園を統合し、九之坪保育園分園跡地に新園舎の整備を進めます。また、鹿田北保育園の同敷地内に新園舎の整備を進めます。

・認定こども園の設置

熊之庄保育園と薬師寺保育園を統合し、市民プール跡地に社会福祉法人による認定こども園を設置し、民間で運営管理する(仮称)北部こども園の整備を進めます。また、鹿田南保育園を移管し鹿田地区に幼保連携型認定こども園を設置し、民間で運営する(仮称)中部こども園の整備を進めます。

□ スケジュール

2019年度 九之坪児童館改修

2020年度 (仮称)北部こども園開設

2021年度 (仮称)中部こども園開設

2022年度 鹿田北保育園の新園舎整備

時期未定 ひまわり園とひまわり西園を統合

□ 特別養護老人ホームの建設 ☆

関連施策 1 - 4 高齢者福祉 ③地域包括ケアシステムの構築

□ 事業概要

慢性的な入所待機者の解消と、今後、高齢化の進展により増加する要介護者の生活の場を確保するため、第6特別養護老人ホームの整備を促進します。

□ 主な施設内容

設置主体：社会福祉法人西春日井福祉会

施設規模：特別養護老人ホーム 定員 100人程度

建設候補地：北名古屋市地内

用地面積：8,000㎡程度

【参考】第5特別養護老人ホーム・平安の里
定員 96人 延床面積：6,076.72㎡

□ スケジュール

2018～19年度 用地選定・取得

2020～21年度 施設建設

2022年度 供用開始予定



第5特別養護老人ホーム 平安の里

□ 地域包括ケアシステムの整備

関連施策 1 - 4 高齢者福祉 ③地域包括ケアシステムの構築

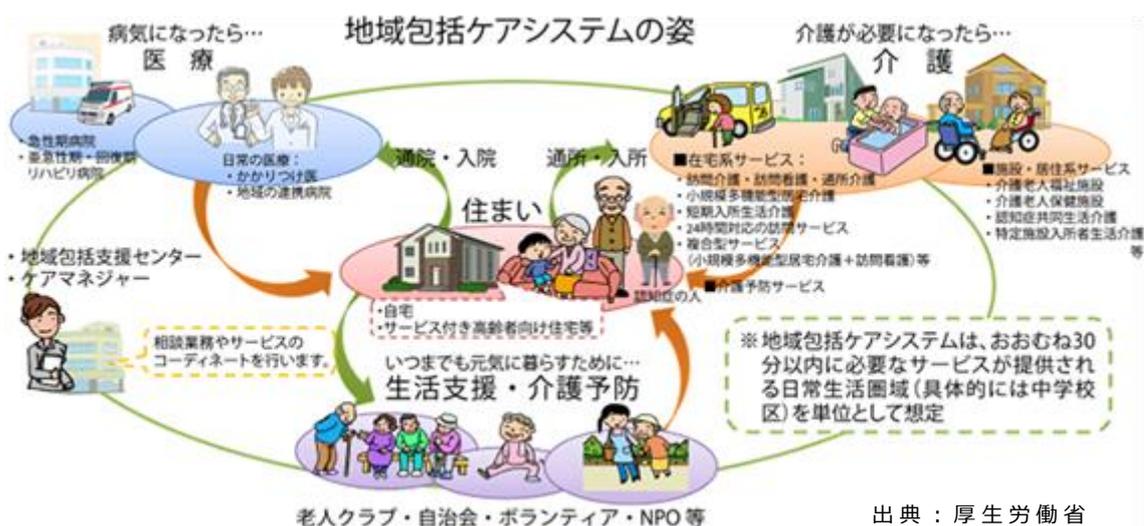
□ 事業概要

高齢者が、介護が必要となっても、住み慣れた地域で医療・介護・住まい・介護予防・生活支援サービスが受けられる地域包括ケアシステムの構築をめざします。

□ 主な事業内容

地域包括ケア推進室及び地域包括支援センターにおいて、以下の事業を実施し地域包括ケアシステムの構築を推進します。

- ・ 自立支援に向けた介護予防ケアマネジメントや介護予防
- ・ 見守り活動等の総合相談
- ・ 高齢者の虐待防止・養護者の支援・成年後見制度の利用促進を行う権利擁護
- ・ 地域の保健・医療・福祉のネットワークづくりを行う包括的・継続的ケアマネジメント支援
- ・ 在宅医療・介護連携推進
- ・ 生活支援サービスの体制整備を推進する生活支援体制整備
- ・ 認知症の方やその家族を支援する認知症総合支援



出典：厚生労働省

□ 障害者の生活拠点となるグループホームの整備 ☆

関連施策 1 - 5 障害者（児）福祉 ②生活支援の充実

□ 事業概要

障害者の重度化・高齢化や親亡き後に備え、また、入所施設からの地域移行を進めるため、重度障害者の対応ができる専門性を持った居住施設及び日中活動支援が行えるとともに、緊急時の障害者の受入などのセーフティネット機能も有する短期入所施設を併せ持った日中サービス支援型のグループホームを清須市、豊山町と合同で整備します。

また、市内へのグループホームの設置を推進するために、市内社会福祉法人などに対し設置に係る費用を補助します。

□ スケジュール

・生活拠点となるグループホームの整備

2018年度 愛知県との協議

社会福祉法人西春日井福祉会と2市1町による建設及び事業運営の合意

2019年度 社会福祉法人西春日井福祉会との契約、実施設計、建設用地の買収

2020年度 本体施設の建設、グループホーム等の事業申請

2021年度 事業開始

・グループホームの設置の推進

2018年度 要綱制定

2019年度 建設地の購入価格調査

法人に対する補助の開始

□ 小学校の英語授業への教科担任制の導入 ☆

- 関連施策 2-1 学校教育 ①社会を生き抜く力の育成
2-1 学校教育 ②未来への飛躍を実現する人材の育成

□ 事業概要

子どもたちが、これからの社会を生き抜くためには、知識の多寡だけではなく、その知識をどのように活用するかが求められます。また、グローバル化が進展する社会においては、英語を使って理解したり表現したりできるようにすることが必須となります。こうした視点に立つと、思考力、判断力、表現力及び英語力の育成が喫緊の課題です。

このため、高い教科専門性に裏付けられた指導が必要となることから、小学校高学年の英語の授業に教科担任制の導入を進めます。

□ 主な事業内容

一般的に小学校の授業は担任が全教科を担当していますが、2019年度から、英語の授業については、英語の免許を持った教員による教科担任制の導入を進めます。

なお、授業の進め方は、現行と同様にALT（Assistant Language Teacher）との2人体制で行う方法を継続し、英語授業における指導体制の充実強化を図り、児童の英語力をより一層高めます。



□ グローバル人材の育成に向けた子どもの英語力向上

- 関連施策 2-1 学校教育 ②未来への飛躍を実現する人材の育成
2-2 生涯学習 ①学習機会の充実

□ 事業概要

英語に親しみ、英語コミュニケーション能力を伸ばすことで、グローバル社会に対応できる人材を育成するため、小中学生の学年に応じて、英語力の充実・強化を図ります。

□ 主な事業内容

・英語指導事業

小学校3年生から中学校3年生までの英語の授業に、非常勤講師としてALTを配置し、聞くこと、話すことを中心に英語に親しみ、英語力を高め、発達段階に即したコミュニケーション能力の育成を図ります。



・児童生徒英語力推進事業

土曜英語教室（対象：小学2・3年生）

夏期英語体験研修

○イングリッシュキャンプ（対象：小学3～6年生）

○ブリティッシュヒルズ中学生英語体験研修（対象：中学生）

中学生語学留学事業（対象：中学1・2年生）

○グアム大学での語学研修

□ コミュニティ・スクールの充実

- 関連施策 2-1 学校教育 ④地域とともにある学校づくり
6-1 コミュニティ・市民活動①地域コミュニティ活動の推進

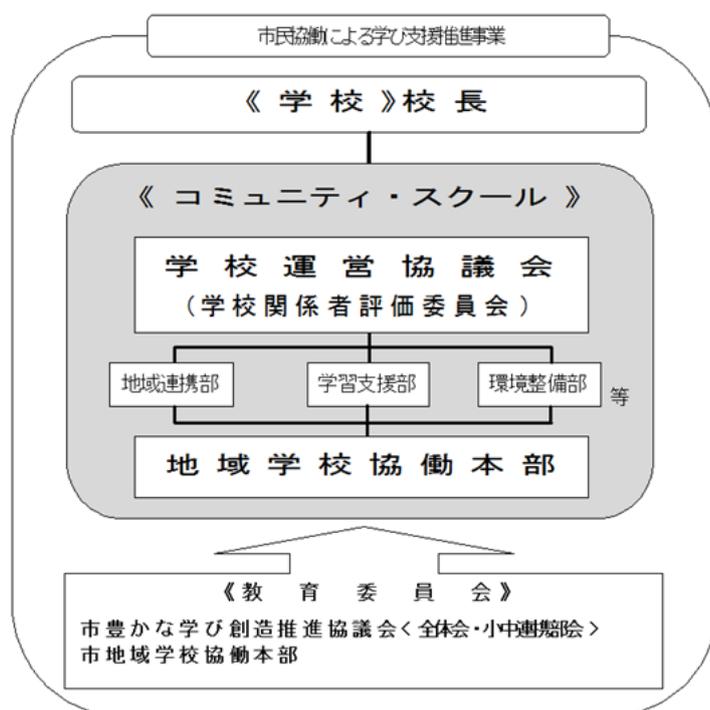
□ 事業概要

子どもたちの生きぬく力・学力の向上だけでなく、家庭の教育力の向上、地域の絆の強化を図るためのしくみとして、コミュニティ・スクールを位置づけています。

先進的に全小中学校に導入されており、市民（地域のみなさん）と学校とが連携・協働して子どもたちの豊かな学びをサポートしています。

□ 主な事業内容

育てたい子ども像や学校・家庭・地域が当事者として果たす役割などを話し合う学校運営協議会と、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えていく、さまざまな活動を行う地域学校協働本部や、評価活動を通して学校と地域の相互の理解を深める学校関係者評価委員会を北名古屋市版コミュニティ・スクールとして一体的に進めています。



□ 放課後の子どもの居場所づくり

関連施策 1-3 子育て支援 ②子育てと社会参加の両立支援
2-2 生涯学習 ①学習機会の充実

□ 事業概要

放課後の子どもの居場所づくりとして、各小学校の敷地内に児童クラブと放課後子ども教室を設置することで、一体型の環境を整備し、より安全・安心な居場所を確保します。(小学校 10 校のうち、1 校は児童クラブが近くの校外にある連携型です)

□ 主な事業内容

・児童クラブ

保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生を対象に、適切な遊びや生活の場を提供し、児童の健全な育成を支援します。

・放課後子ども教室

子どもたちが通う小学校の特別教室などの施設を利用し、地域の方々の協力を得ながら学習活動や様々な体験・交流活動を行う事業です。特に宿題や教材プリントによる自主学習の支援、地域の方による体験交流を推進しています。



放課後子ども教室での学習支援風景



放課後子ども教室での体験活動風景

□ 地域との絆を深める駅伝大会の開催 ☆

関連施策 2-4 スポーツ・レクリエーション

① ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

□ 事業概要

健康増進とスポーツの推進を図るとともに、市民の融和と郷土愛の醸成を図るためには、市民相互の絆、更には地域と企業の絆を深めていくことが重要です。各地域や企業から多数参画いただき、チームの一体感を強めるだけでなく、地域コミュニティを活性化させる効果的な競技である駅伝大会を開催します。

□ スケジュール

2018年度 コースや部門などの実施内容の検討

2019年度 実行委員会組織の準備

2020年度 実行委員会の開催、大会要項の作成

駅伝大会開催（1月下旬）



□ 防災・健康ひろばの整備 ☆

- 関連施策 1-1 健康・医療 ②健康づくりに取り組みやすい環境の充実
 3-1 防災・消防 ②大規模災害に備えた施設設備

□ 事業概要

北名古屋市地域防災計画では、健康増進施設である健康ドームとその周辺を災害救護拠点、2次救急医療機関である済衆館病院を災害医療拠点として位置づけています。これら核となる施設に加え、被災時の救護活動、医療機関などや自衛隊からの受援体制、避難・応急対策活動を円滑なものとするため、防災・健康ひろばを整備します。

□ 主な施設概要

- ・整備面積 7,800 m²
- ・施設内容 多目的広場、ヘリの離着陸帯、救護本部運営に係る防災シェルター、大型緊急車両進入路、車中泊避難が可能な駐車場、避難生活に係る飲料水兼耐震性貯水槽、マンホールトイレ、かまどベンチ、防災備蓄倉庫など

□ スケジュール

- 2018年度 地権者への合意形成
 2019年度 用地取得交渉
 実施設計
 社会資本整備計画
 2020年度 施設整備工事



□ 名古屋市と共同で整備する清掃工場の余熱を利用した 温水プールの整備 ☆

- 関連施策 1 - 1 健康・医療 ②健康づくりに取り組みやすい環境の充実
3 - 4 ごみ処理・資源循環 ②廃棄物の適正処理の推進
6 - 5 多様な連携 ③広域行政の推進

□ 事業概要（事業主体：北名古屋衛生組合）

（仮称）北名古屋清掃工場の地元還元施設として、安定的に発生する余熱を利用した温水プールを二子地区に整備します。

□ 主な施設内容

25mプール（5コース）・歩行者用プール・学童用プール
幼児用プール・ジェットバス・更衣室・シャワー室・トレーニング室

□ スケジュール

- 2018年度 実施設計、配管詳細設計、周辺市道設計、事業認定申請
2019年度 事業認定、用地補償、余熱利用配管工事、周辺市道工事
2020年度 温水プール工事、周辺市道工事
2021年度 温水プール工事、周辺市道工事（秋供用開始予定）



□ 鉄道高架化事業と駅周辺のまちづくり ☆

- 関連施策 4-1 道路基盤 ②道路網の整備
4-2 市街地・下水道 ②魅力があり心温まる都市基盤づくり

□ 事業概要

市域の中央を南北に通る鉄道は、まちの大きな分断要素となっています。そこで、鉄道の高架化を図るとともに駅周辺のまちづくりを一体的に推進し、快適で暮らしやすい一体感のあるコンパクトな都市をつくります。

□ 主な事業内容

- ・徳重・名古屋芸大駅付近を1期施行区間、西春駅付近を2期施行区間とする2段階施行による連続立体交差事業
- ・区画整理事業など徳重・名古屋芸大駅周辺まちづくりの合意形成・機運醸成のための説明会やワークショップなどの実施

□ スケジュール

- ・連続立体交差事業
 - 2018年度 鉄道事業者・愛知県などの関係機関協議
 - 2019～24年度 都市計画決定に向けた設計・協議
 - 2025～29年度 事業着手に向けた協議など
- ・土地区画整理事業等
 - 2018～20年度 地元の合意形成
 - 2019～20年度 都市計画決定に向けた設計・協議
 - 2021～24年度 事業着手に向けた協議など



□ 「お出かけできる足」となる公共交通の充実 ☆

関連施策 1 - 4 高齢者福祉 ①高齢者の社会参加の促進
4 - 5 公共交通 ①市内交通の充実

□ 事業概要

朝夕の通勤・通学手段だけでなく、福祉的観点に配慮し、通院や買い物などの「お出かけできる足」となる公共交通の充実を図ります。

「きたバス」においては、現在の路線を基本としつつ、市民ニーズに合わせた修正を加えます。また、2018年度にはアンケート調査を実施し、その結果を踏まえて交通弱者対策の充実を図ります。

□ 主な事業内容

- ・ 市内循環バス「きたバス」の運行
- ・ 高齢者タクシー料金助成事業

□ スケジュール

2018年度 アンケート調査、公共交通会議にて調査の結果を発表

2019年度 公共交通の方向性等を検討、検討結果を踏まえたダイヤ等の改定案を作成、公共交通会議の承認

2020年度 改定後のダイヤによる運行開始



□ 沖村西部土地区画整理事業と企業誘致 ☆

関連施策 5-3 工業 ①企業立地に向けた活動強化

□ 事業概要

活力があり持続的に発展していく都市づくりには、財政基盤の強化、雇用の拡大、定住人口の増加が必要です。そのためには、本市の特徴を活かした新たな産業の創出・集積を図ることが重要となります。

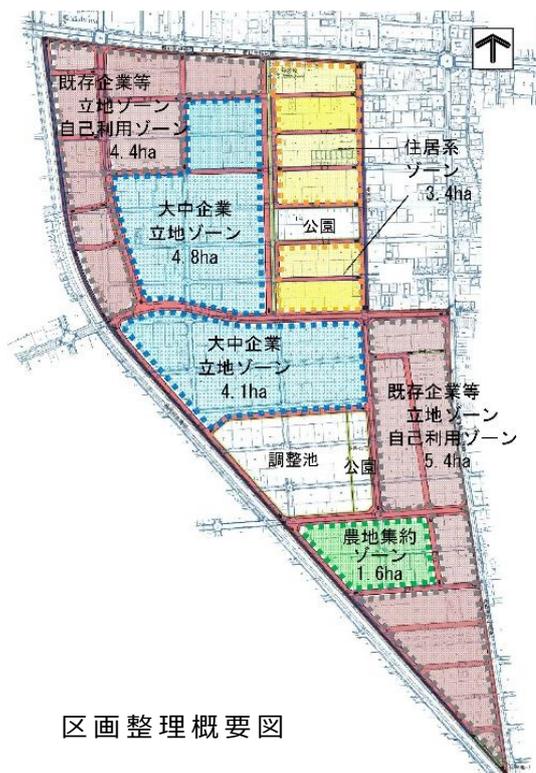
本市の南西部に位置する沖村西部地区は、名古屋市に隣接しており、交通の利便性に優れた面積約 33ha の企業立地に適した地区となっています。その地区へ必要な都市基盤整備を行い、工業系土地利用の推進を図るとともに、地区の特性に応じて周辺環境に配慮した良好な街区環境を形成・保全するために土地区画整理事業を実施します。

□ 主な事業内容

- ・ 立地企業の工事状況の進捗管理
- ・ 造成工事の実施

□ スケジュール

- 2020年度 大中企業立地ゾーン
(8.9ha) の造成完成
- 2024年度 土地区画整理事業完了



区画整理概要図

□ ファシリティマネジメントの推進

関連施策 6-4 行政経営 ①行政サービスの充実・適正化

□ 事業概要

公共施設における全体の状況を把握し、老朽化や人口減少による利用需要の変化などに適正に対応する必要があります。そこで、市が保有する建物系公共施設やインフラ資産の利用環境について、計画的・総合的に管理し、経営戦略的に活用するためにファシリティマネジメントを推進します。

ファシリティマネジメントとは、業務用不動産を経営にとって最適な状態で保有し、運営し、維持するための総合的な管理手法のことです。

□ 主な事業内容

- ・ 公共施設個別施設計画の策定
- ・ 学校施設長寿命化計画の策定

122 施設（356 棟）を対象に、建物ごとの劣化状況や耐震性、大規模改修サイクルに基づいて 2020 年～59 年までの 40 年間の計画を策定します。

- ・ 公共施設マネジメント

上記計画に基づいて各施設の統廃合や維持管理、更新を実践します。

□ スケジュール

2018 年度	学校施設長寿命化計画の策定
2019 年度	公共施設個別施設計画の策定 学校施設長寿命化対策（設計委託）
2020 年度～	公共施設マネジメント（統廃合の検討・実施） 学校施設長寿命化対策（工事） 学校以外の施設対策（設計委託・工事等）

□ 名古屋市等との合併の検討 ☆

関連施策 6-5 多様な連携 ③広域行政の推進

□ 事業概要

市民が北名古屋市の将来を考える中で、名古屋市等との合併も一つの選択肢として捉えてもらうため、幅広く調査研究を実施します。その結果を市の広報やホームページに掲載するとともに、冊子の作成や講演会の開催等により情報提供を行います。

行政区域の遷り変わり

